

※ツベルクリン反応検査

ツベルクリンと名づけた結核菌の培養濾液を皮膚に注射すると、結核に対するアレルギー反応を起こすもので、結核感染の判定に用いられるものです。

方法は、精製ツベルクリンの0.1mlを皮内注射して48時間後に皮膚反応(発赤の長径)を測定して判定します。

なぜ48時間後かというと、遅延型アレルギー反応(要するにアレルギー反応に時間がかかる)からです。

注射部位は、前腕のほぼ中央部または上腕の中央からやや下部の皮内に注射。

ツベルクリン反応が陽性であれば、過去に結核菌に感染していることになりませんが、必ずしも結核感染を意味しているわけではありません。

なぜならBCGによる陽性もあるからです。

また、結核に感染後4～6週間以内は、陰性の場合が多く、必ずしも結核感染の指標とはなりません。



(大分県東部保健所 検査課 診療放射線担当 平成27年11月18日作成)